

タイトル「**2024年度大学院危機管理学研究科(公開用)**」、フォルダ「**大学院危機管理学研究科**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー			
科目名	危機管理学研究演習Ⅱ		
担当教員	吉富 望		
対象学年	1年,2年	開講学期	後期
曜日・時限	時間外		
講義室		単位区分	必
授業形態	演習	単位数	1
科目大分類	—		
科目中分類	修士		
科目小分類	統合・演習		
科目の位置付け（開発能力）	■DPコード・学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP3(思考力・判断力・表現力)客観的な情報やデータをもとに論理的に考察し説得的に表現する力：40% DP2(学識・専門技能)災害,テロ,国際紛争等,複雑化した現代の様々な危機を分析し解決するための,法学,政治学,国際関係学等の社会科学の知見を統合した応用的な知識と技能：30% DP4(主体性・多様性・協働性)多様な価値観や立場を尊重しつつ,自らの明確な考えをもとに,他者とコミュニケーションを確立する能力：30%		
教員の実務経験	陸上自衛隊に32年間勤務し、この間、第一線部隊において部隊運用に関わる実務に約11年間従事しました。また、内閣官房内閣情報調査室、防衛省防衛局、防衛省情報本部、陸上幕僚監部といった中央機関で防衛力整備、部隊運用、戦略情報に関わる実務に約11年間従事しました。加えて、防衛大学校、陸上自衛隊研究本部、陸上自衛隊小平学校などで教育及び研究開発の実務に約10年間従事しました。授業では、国際政治、安全保障および防衛に関する専門的な学識の習得を図りますが、政策と実務とのギャップ（政策上の課題）についても実務経験に基づいて分かりやすく教育します（第1回～15回）。このことで、生きた学識を習得するとともに、国際政治、安全保障および防衛について分析する力を高めます。		
成績ターゲット区分			
科目概要・キーワード	危機管理学とその基礎となる法学に関する研究活動を実践するために、必要な社会科学的研究手法を学び、学生が自らテーマを設定し、論文を執筆し、成果を発表するための指導を行います。本演習では、危機管理学、法学に関する研究論文の執筆にあたっての、論文のアウトライン策定と考察・叙述、ディスカッションの活性化、プレゼンテーションの実質化を含む基礎的研究プロセスを扱います。これらの研究プロセスを通じて、学識・専門技能に加え、判断力・思考力・表現力、更には主体性・計画性・協働性等の汎用的能力を開発することを目的とします。 授業形態は演習形式により行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れる場合があります。 ■キーワード 国際政治、安全保障、防衛		
授業の趣旨	■副題 国際政治、安全保障、防衛を考える（発展編） ■授業の目的 国際政治、安全保障および防衛に関する学識を深め、判断力・思考力・表現力、更には主体性・計画性・協働性等の汎用的能力を更に高めることを目的とします。 ■授業のポイント 国際政治、安全保障および防衛に関する文献を読み込んで基本的な学識を深めるとともに、現在の国際情勢にその学識を適用して問題の所在と課題への対処のあり方について、自ら説明できる能力を高めます。また、修士論文執筆に向けた研究を進めます。		
総合到達目標	■一般総合目標（GIO） 国際政治および日本の安全保障・防衛に関する学識・専門技能を身につけ、論理的思考力を高めるために多様な見方を養う。 ■個別行動目標（SBOs） SBO1 国際政治の見方について意見を述べることができる。（第2～15回） SBO2 日本の安全保障・防衛のあり方について意見を述べることができる。（第2～15回） SBO3 日本の安全保障・防衛に関係する国内外の情勢について説明できる。（第2～15回）		
成績評価方法	■レポート：13回（70％）：対応コンピテンス DP2, DP3, DP4 （評価の観点）教科書の各章について、①要約、②著者の主張、③著者の主張に賛同できる点・その理由、④著者の主張に賛同できない点・その理由、についての確かつ論理的に答えているかどうかを評価します。 （フィードバックの方法）授業時間内に解説を実施します。 ■修士論文中間報告：1回（30％）：対応コンピテンス DP2, DP3, DP4 （評価の観点）修士論文の構成について、的確かつ論理的に報告しているかどうかを評価します。 （フィードバックの方法）授業時間内に解説を実施します。		
履修条件	特になし		
履修上の注意点	特になし		
授業内容	回	内容	
	1	①授業テーマ ガイダンス、修士論文進捗状況報告 ②授業概要 授業の内容、スケジュール、評価方法、レポートについて確認し、授業に取り組めるようになる。（DP2, DP3, DP4） 修士論文の進捗状況を確認し、計画的に研究及び論文執筆を行えるようになる。（DP2, DP3, DP4） 担当教員の实務経験を踏まえて、国際政治の現状、課題等を具体的に提示し、体系的な理解と問題意識を醸成する。	

	③予習（120分） シラバスの内容をよく読むとともに、修士論文の進捗状況報告を作成する。 ④復習（120分） 講義ノートを確認し、自分の学習計画及び修士論文の研究・執筆計画について検討する。
2	①授業テーマ はじめにツキュディデスありき ②授業概要 教科書の「第1章 はじめにツキュディデスありき」に関するレポートの発表及び質疑応答を行い、ツキュディデスの考え方について説明できるようになる。（DP2, DP3, DP4） （フィードバックの方法）授業時間内に解説を実施する。 担当教員の実務経験を踏まえて、国際政治の現状、課題等を具体的に提示し、体系的な理解と問題意識を醸成する。 ③予習（120分） 教科書の「第1章 はじめにツキュディデスありき」に関するレポートを作成する。 ④復習（120分） 講義ノートを確認し、ツキュディデスの考え方について自分なりの説明をまとめる。
3	①授業テーマ アナーキーという秩序 ②授業概要 教科書の「第2章 アナーキーという秩序」に関するレポートの発表及び質疑応答を行い、アナーキーという秩序について説明できるようになる。（DP2, DP3, DP4） （フィードバックの方法）授業時間内に解説を実施する。 担当教員の実務経験を踏まえて、国際政治の現状、課題等を具体的に提示し、体系的な理解と問題意識を醸成する。 ③予習（120分） 教科書の「第2章 アナーキーという秩序」に関するレポートを作成する。 ④復習（120分） 講義ノートを確認し、アナーキーという秩序について自分なりの説明をまとめる。
4	①授業テーマ 安全保障 ②授業概要 教科書の「第3章 安全保障」に関するレポートの発表及び質疑応答を行い、安全保障について説明できるようになる。（DP2, DP3, DP4） （フィードバックの方法）授業時間内に解説を実施する。 担当教員の実務経験を踏まえて、国際政治の現状、課題等を具体的に提示し、体系的な理解と問題意識を醸成する。 ③予習（120分） 教科書の「第3章 安全保障」に関するレポートを作成する。 ④復習（120分） 講義ノートを確認し、安全保障について自分なりの説明をまとめる。
5	①授業テーマ セキュリティ・ディレンマ ②授業概要 教科書の「第4章 セキュリティ・ディレンマ」に関するレポートの発表及び質疑応答を行い、セキュリティ・ディレンマについて説明できるようになる。（DP2, DP3, DP4） （フィードバックの方法）授業時間内に解説を実施する。 担当教員の実務経験を踏まえて、国際政治の現状、課題等を具体的に提示し、体系的な理解と問題意識を醸成する。 ③予習（120分） 教科書の「第4章 セキュリティ・ディレンマ」に関するレポートを作成する。 ④復習（120分） 講義ノートを確認し、セキュリティ・ディレンマについて自分なりの説明をまとめる。
6	①授業テーマ 失う恐怖の国際理論 ②授業概要 教科書の「第5章 失う恐怖の国際理論」に関するレポートの発表及び質疑応答を行い、失う恐怖の国際理論について説明できるようになる。（DP2, DP3, DP4） （フィードバックの方法）授業時間内に解説を実施する。 担当教員の実務経験を踏まえて、国際政治の現状、課題等を具体的に提示し、体系的な理解と問題意識を醸成する。 ③予習（120分） 教科書の「第5章 失う恐怖の国際理論」に関するレポートを作成する。 ④復習（120分） 講義ノートを確認し、失う恐怖の国際理論について自分なりの説明をまとめる。
7	①授業テーマ 抑止のディレンマと抑止失敗 ②授業概要 教科書の「第6章 抑止のディレンマと抑止失敗」に関するレポートの発表及び質疑応答を行い、抑止のディレンマと抑止失敗について説明できるようになる。（DP2, DP3, DP4） （フィードバックの方法）授業時間内に解説を実施する。 担当教員の実務経験を踏まえて、国際政治の現状、課題等を具体的に提示し、体系的な理解と問題意識を醸成する。 ③予習（120分） 教科書の「第6章 抑止のディレンマと抑止失敗」に関するレポートを作成する。 ④復習（120分） 講義ノートを確認し、抑止のディレンマと抑止失敗について自分なりの説明をまとめる。
8	①授業テーマ 核戦略と現代の苦悩 ②授業概要 教科書の「第7章 核戦略と現代の苦悩」に関するレポートの発表及び質疑応答を行い、核戦略と現代の苦悩について説明できるようになる。（DP2, DP3, DP4） （フィードバックの方法）授業時間内に解説を実施する。 担当教員の実務経験を踏まえて、国際政治の現状、課題等を具体的に提示し、体系的な理解と問題意識を醸成する。 ③予習（120分） 教科書の「第7章 核戦略と現代の苦悩」に関するレポートを作成する。 ④復習（120分） 講義ノートを確認し、核戦略と現代の苦悩について自分なりの説明をまとめる。

	①授業テーマ 国際危機と危機管理 ②授業概要 教科書の「第8章 国際危機と危機管理」に関するレポートの発表及び質疑応答を行い、国際危機と危機管理について説明できるようにする。(DP2, DP3, DP4) (フィードバックの方法) 授業時間内に解説を実施する。 担当教員の実務経験を踏まえて、国際政治の現状、課題等を具体的に提示し、体系的な理解と問題意識を醸成する。 ③予習 (120分) 教科書の「第8章 国際危機と危機管理」に関するレポートを作成する。 ④復習 (120分) 講義ノートを確認し、国際危機と危機管理について自分なりの説明をまとめる。
	①授業テーマ なぜ同盟は形成され、存続するのか ②授業概要 教科書の「第9章 なぜ同盟は形成され、存続するのか」に関するレポートの発表及び質疑応答を行い、なぜ同盟は形成され、存続するのかについて説明できるようにする。(DP2, DP3, DP4) (フィードバックの方法) 授業時間内に解説を実施する。 担当教員の実務経験を踏まえて、国際政治の現状、課題等を具体的に提示し、体系的な理解と問題意識を醸成する。 ③予習 (120分) 教科書の「第9章 なぜ同盟は形成され、存続するのか」に関するレポートを作成する。 ④復習 (120分) 講義ノートを確認し、なぜ同盟は形成され、存続するのかについて自分なりの説明をまとめる。
	①授業テーマ 未来からの教訓—同盟が終わるとき ②授業概要 教科書の「第10章 未来からの教訓—同盟が終わるとき」に関するレポートの発表及び質疑応答を行い、同盟の終焉について説明できるようにする。(DP2, DP3, DP4) (フィードバックの方法) 授業時間内に解説を実施する。 担当教員の実務経験を踏まえて、国際政治の現状、課題等を具体的に提示し、体系的な理解と問題意識を醸成する。 ③予習 (120分) 教科書の「第10章 未来からの教訓—同盟が終わるとき」に関するレポートを作成する。 ④復習 (120分) 講義ノートを確認し、同盟の終焉について自分なりの説明をまとめる。
	①授業テーマ バランス・オブ・パワー ②授業概要 教科書の「第11章 バランス・オブ・パワー」に関するレポートの発表及び質疑応答を行い、バランス・オブ・パワーについて説明できるようにする。(DP2, DP3, DP4) (フィードバックの方法) 授業時間内に解説を実施する。 担当教員の実務経験を踏まえて、国際政治の現状、課題等を具体的に提示し、体系的な理解と問題意識を醸成する。 ③予習 (120分) 教科書の「第11章 バランス・オブ・パワー」に関するレポートを作成する。 ④復習 (120分) 講義ノートを確認し、バランス・オブ・パワーについて自分なりの説明をまとめる。
	①授業テーマ 戦争はなぜ起こるのか ②授業概要 教科書の「第12章 戦争はなぜ起こるのか」に関するレポートの発表及び質疑応答を行い、戦争はなぜ起こるのかについて説明できるようにする。(DP2, DP3, DP4) (フィードバックの方法) 授業時間内に解説を実施する。 担当教員の実務経験を踏まえて、国際政治の現状、課題等を具体的に提示し、体系的な理解と問題意識を醸成する。 ③予習 (120分) 教科書の「第12章 戦争はなぜ起こるのか」に関するレポートを作成する。 ④復習 (120分) 講義ノートを確認し、戦争はなぜ起こるのかについて自分なりの説明をまとめる。
	①授業テーマ 国際政治の悲劇を避けられるか ②授業概要 教科書の「終章 国際政治の悲劇を避けられるか」に関するレポートの発表及び質疑応答を行い、国際政治の悲劇の回避について説明できるようにする。(DP2, DP3, DP4) (フィードバックの方法) 授業時間内に解説を実施する。 担当教員の実務経験を踏まえて、国際政治の現状、課題等を具体的に提示し、体系的な理解と問題意識を醸成する。 ③予習 (120分) 教科書の「終章 国際政治の悲劇を避けられるか」に関するレポートを作成する。 ④復習 (120分) 講義ノートを確認して、国際政治の悲劇の回避について自分なりの説明をまとめる。
	①授業テーマ 修士論文報告(先行研究分析、問題の所在、仮説) ②授業概要 修士論文のテーマに関する先行研究分析、問題の所在、仮説についての研究結果を発表し、質疑応答を行って今後の研究の方向性を確立できるようにする。(DP2, DP3, DP4) (フィードバックの方法) 授業時間内に解説を実施する。 担当教員の実務経験を踏まえて総評及びアドバイスを与える。 ③予習 (120分) 報告を準備する。 ④復習 (120分) 発表に際しての質疑応答などを踏まえて、今後の研究の方向性を確立する。
関連科目	「危機管理法制4(行政・国家) R5MR0009」(1年次前期配当), 「危機管理法制6(行政・国際) R5MR0011」(1年次後期配当)
教科書	土山貴男「安全保障の国際政治学 -- 焦りと傲り」有斐閣

参考書・参考URL	特になし
連絡先・オフィスアワー	■連絡先 開講時に告知します。 ■オフィスアワー 月曜日5限
研究比率	■危機管理領域との対応 災害マネジメント5%；パブリックセキュリティ5%；グローバルセキュリティ85%；情報セキュリティ5% ■危機管理と法学とのバランス 危機管理90%；法学10%

